

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（実社会対応プログラム）  
研究テーマ公募型研究テーマ 研究概要

課題

人口減少社会における多様な文化の共生をめざすコミュニティの再構築

研究テーマ名

尊厳ある縮退によるコミュニティの再生と創生

責任機関

国立大学法人大阪大学

研究実施期間

平成30年10月～2021年9月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者	渥美公秀	大阪大学・大学院人間科学研究科・教授
グループリーダー	宮本匠	兵庫県立大学・大学院減災復興政策研究科・講師
分担者	加藤謙介	九州保健福祉大学・社会福祉学部・准教授
分担者（実務者）	福島真司	兵庫県社会福祉協議会・事務局次長
分担者（実務者）	村井雅清	被災地NGO協働センター
グループリーダー	石塚裕子	（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構・主任研究員
分担者	室崎千重	奈良女子大学・生活環境学部・講師
分担者（実務者）	小林郁雄	（株）コー・プラン・取締役
分担者（実務者）	鞍本長利	NPO法人ウイズ・アス・代表
分担者（実務者）	寺本弘伸	NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク・常勤理事
グループリーダー	矢守克也	京都大学・防災研究所・教授
分担者（実務者）	堀池美江	兵庫県・企画県民部・消防課・主幹
分担者（実務者）	檜垣龍樹	尼崎市・企画財政局 シティプロモーション推進部・部長

**配分（予定）額**

（単位：円）

平成30年度	平成31年度 （2019年度）	2020年度	2021年度
3,250,000円	3,406,910円	2,230,150円	3,093,740円

※平成31年度（2019年度）・2020年度・2021年度については予定額

**研究目的の概要**

本研究は、「尊厳ある縮退」をキーワードとして、人口減少社会におけるコミュニティの再生・創生のプロセスを明らかにし、それらを多様な文化と共生するコミュニティの再構築手法へと昇華し、実務家による橋渡しを得て社会実装することを目的とする。

具体的には、兵庫県赤穂郡上郡町赤松地区15集落（内2つは消滅集落）をモデル地区に、住民の自発的意思によりながら、集落を持続可能な形で存続する集落再生プロセスと、集落を閉じて別の地での生活を目指す集落創生プロセスを明らかにし、多様な住民（高齢者や障害者など）や多様な外来者（NPO・専門家、観光客など）とともに文化基盤（伝統行事など）、経済基盤（生業・観光など）、社会基盤（交通・福祉など）を融合しながら未来を創造していく手法を提案する。実務家（NPO・自治体職員など）の協力を得て、他地域に展開しうる実効性をもったコミュニティ再構築手法を開発し、社会実装を行う。

**研究計画の概要**

研究期間全体を通して、本プロジェクトチームの研究会（尊厳ある縮退研究会）を定期的  
に開催し、これを研究ベースとする。研究期間前半は、「尊厳ある縮退」によるコミュニ  
ティの再構築パターンを体系化し（平成30-31年度(2019年度)）、集落診断を実施して集落夢会  
議を開設する（平成31年度(2019年度)）。後半は、前半の成果をもとに中間シンポジウムを通  
じて社会的関心を喚起しつつ他地区での検証を行い『尊厳ある縮退による持続可能な豊かな  
未来社会像』を提示し、施策提案を行う（2020年度）。そして、社会実装して、そのための  
ツール（手引書等）を作成し、公開していく（2021年度）。